



ほほえみ

第197号

2023.1.1
(令和5年1月1日)

大竹市社協だより・大竹市民児協だより合併号

新年！元氣いっぱいのはじめのスタート！

ふれあいネットワーク



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

新年のごあいさつ

大竹市社会福祉協議会

会長 西尾裕次



明けましておめでとうございます。
いつも大竹市社会福祉協議会の運
営にご理解・ご支援を賜り深く感謝
申し上げます。

第8波の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、動き出したばかりの旅行支援や土産物支援という経済活動が、再びストップしてしまう事が大変心配です。

私も社会福祉協議会も恒例の「大竹ふれあい健康 福祉まつり」は、3年連続中止とさせて頂いた頂きましたが、地域のサロン活動については順調に再開をしました。何とか活動を継続させていくことを職員一同協力して知恵を絞っているところです。

また、以前はサロン交流会を市内全域から集まっていたが、一緒に楽しんでおりましたが、今年度は密を避ける目的もあり3地区に分散して「ファッションショー」として開催しており、地域の皆様にも大変喜ばれました。

今年、大竹市社会福祉協議会では皆様方の生活に密着した活動に専念して、「安心・安全で住みたい、住んで良かったと感じる福祉のまちづくり」を目指します。

皆様方のご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

「ぶらっとほーむ」

問い合わせ先 「ぶらっとほーむ」

大竹市御園二丁目11-15 TEL57-3935

あけましておめでとうございます。

今年も職員一同、一致団結して頑張っていきますのでどうぞよろしくお願い致します。



みんなに聞いてみた!! 職員さんてどんな人??



三原大祐さん
魚釣りが大好きで
さつきのムードメーカー



古城雄二さん
手先が器用でなんでも
修理してくれる



村中幸恵さん お茶目で明るく
カーブ大好き
な人
宗藤弘子さん 元気で明るく
農作業を頑張
っている



倉本正美さん いつもおしゃれで
時々ドジっ子
山本祐加さん 真面目でやさしく
て楽しい人



深川むつ子さん やさしくて話し
上手
宮野由美さん いつも仕事に
熱心

ファッションショー開催

11月11日(金)、サントピア大竹3階多目的ホールにて、地区社協合同ファッションショー(小方・玖波・松ヶ原地区)を開催しました。この企画は、コロナ禍前に毎年開催していたサロン合同交流会の形式を変えての開催になります。

コロナ禍の中、地域の方々から「合同交流会はもうせんのか?」「色々な人と関わるきっかけが欲しい。」「何もしないと体(心)が弱る。」などの声があったことがきっかけとなり、規模を縮小しながらも地域サロン同士の交流の場を設けてみなさんに楽しんでもらいたいと企画したものです。



黒川地区のみなさん



阿多田保育園より

ファッションショーには、8団体出場していただきました。

着る勇気がなくてタンスに眠っていた洋服を着た方、還暦祝いでもらった洋服を20年ぶりに着た方などなど…。本当に素敵なお姿でした!

ファッションショーを通じてサロン同士の交流ができたのではないかと感じています。ご協力・ご参加本当にありがとうございました!

今後も人と人がつながりあうことで人の温かさや楽しさを感じていただけたらと思っています。

表紙の写真は、12月9日(金)に開催した大竹・栄町地区のファッションショーの出演者です。

3月には、栗谷地区での開催を予定しています。皆様のご参加お待ちしております。

地域福祉課 TEL (52-2275)



「フルムーンインターナショナルこども園おたけ」のみなさん



「レイフラワーカナニ」のみなさん

おたけ ししょう しやそうだん し えん 大竹市障がい者相談支援センター

かんせんしょうたいさく おこな 感染症対策を行いながら、おしゃべりをする、ストレッチをする、趣味活動をするなど、自分に合ったストレス解消法を見つけ、健やかな一年を過ごしましょう。



とう りょう ほごしゃ かた こうりゅう なかま ば
当センター利用の保護者の方と「交流と仲間づくりの場」、
たの ば いきぬ ば かいさい
「楽しめる場、息抜き場」として開催しています「しゃべり場」は
じかい がつころ よてい
次回、3月頃を予定しています。

と あ さいだん
お問い合わせ・ご相談

TEL : (0827) 52-0167

〒739-0603

大竹市西栄 2-4-1 (大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課)

FAX: 53-8122 メール: soudan@otake-shakyo.or.jp

大竹市心身障害児・者

手をつなぐ育成会 秋の活動報告

10月23日 育成会の中国・四国大会にリモート参加しました

育成会の中国・四国大会(一般大会・本人大会)が広島市立広島特別支援学校で開催され、大竹市の育成会はサントピア大竹で、社協の地域福祉課のサポートを受け、リモート参加をしました。

特別講演では、元厚生労働省事務次官の村木厚子さんから自身の体験を軸に貴重なお話が聞けました。いつも私たちの地域生活を支援してくださっている皆様にも熱心にご視聴いただいて感謝しています。ありがとうございました。



9月25日手すき和紙の体験

「おおたけ手すき和紙の里」にご協力いただき、繊維状になった「コウゾ」を木枠にすくい、趣のある手すき和紙のはがき作りを体験しました。

出来上がったはがきに絵や文字を描いた作品を、10月23日の大会の日、サントピアの会場に展示しました。手すき和紙のはがきのほか、会員となかまたちの作品、絵・書・陶芸品・編み物なども展示しました。



阿多田保育園

大竹市阿多田403-9
TEL 53-7062

10月31日、「ハロウィン」は食べ物がたくさん採れたことをお祝いする日。悪いお化けが近づかないように仮装をする日ということで、仮装してお散歩に出かけました。可愛い王子様とお姫様に仮装した子どもたちは、「トリックオアトリート」と言ってお菓子をもらい、嬉しそうな笑顔を見せてくれました。可愛い子どもたちに悪いお化けもびっくりして逃げたかな？ご協力いただいた地域の皆さんありがとうございました。



生活の不安や困りごと…ひとりで悩まず、ご相談ください！

よりそいサポートセンターのご案内

自立相談支援

生活の不安や困りごとを抱えている方は、まずはお話をお聞きし、問題を整理して、あなたにどのような支援が必要か一緒に考えます。

あなただけの支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行います。

住居確保給付金の支給

※収入要件、上限額あり

離職等により住居を失った方、または失うおそれのある方に対して、就職に向けた活動すること等を条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。

生活基盤となる住居を整えた上で就職活動ができるようサポートします。

支援機関の紹介・同行など

あなたが抱えているさまざまな課題の解決に向けて、他の制度やサービス、専門機関が活用できる場合は、相談支援員が紹介または同行して利用を支援します。

※この事業は、大竹市より委託を受けて、
大竹市社会福祉協議会が実施しています。
相談は、無料です。

就労準備支援

生活リズムを直したい。履歴書の作成や面接の練習をしたい。人と関わる活動から始めてみたい…。一人ひとりの思いを聞き、その人なりの生き方を尊重しながら多様な支援を行います。

家計改善支援

家計の収支状況などを「見える化」して、原因や課題を把握します。また、債務相談にかかわる専門機関へのつなぎ、必要に応じて貸付制度の紹介等を行い、早期の生活再建を支援します。



【相談窓口】

地域福祉課 よりそいサポートセンター

TEL (0827)35-5300



みんなの作品紹介

サントピア大竹1階
展示コーナー

毎週水曜日10時から「コミュニティサロン玖波」で行われている「ひばりの会」のみなさんが作った押し絵を展示しました。季節に合った素敵な作品の数々が並んでおり、ひとつひとつ丁寧に作られたのが伝わってきました。あたたかい作品を提供していただきありがとうございました。

●子どもからお年寄りまで全ての地域住民と一緒に活動する社協だからこそ
世代を問わず、みんなが使えるライフプランノート!! (一部抜粋)

第1章 自分史



自分のこと

わたしのなまえは です。
 (旧姓))

あかた。 年 月 日

生まれは？この地域に暮らして何年？ 

お住下は？ 

 なんなんは？書いていふのなん？
 書いてない人までよろしく書いて！

(書いていない人) (書いていない) △-----

得意なこととは？

得意な	いい

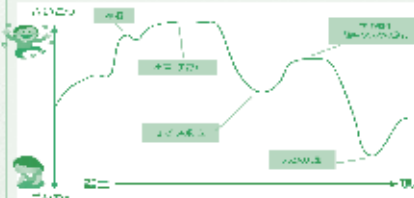
高校の進出しは？(進出方法)

得意な	いい

3


あなたの人生を折れ線グラフで表してみよう！！

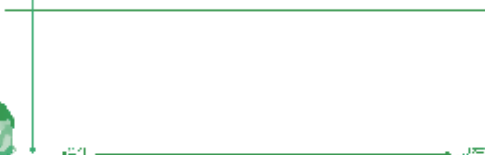
おじいちゃんさんの報告



あなたの人生折れ線グラフ

はげしい





ごんねん



**実習生の私たちが実際に
書いてみました。**



ライフプランノートを書いてみて、普段、無意識にやっていたことも、このライフプランノートで整理してみると、自分についての新たな気づきがあり、自身を見つめなおすきっかけになりました。また、このライフプランノートは自分の「良いところ」をたくさん書けるので自分の強みにも気づくことができると感じました。

支援する側の立場で考えた時には、相手の強みを活かした支援のきっかけとしても活用できると思いました。

11月25日、介護の日講演会を開催しました。「この先を考える」をテーマに西岡志信司法書士に財産管理や遺言についてお話いただきました。その中でもライフプランノートを紹介、配布させていただきました。



ライフプランノートに興味をもった方、使ってみたい方は、お気軽にお問い合わせ下さい。
問い合わせ先:大竹市地域包括支援センター TEL (0827)53-1165

プロジェクト

～社協マンたちの挑戦～

ライフプランノートができました
あなたはこれから先、どんな風に過ごしていきたいですか？

自分はどうしたいだろう？何から考え、始めたらいいだろう…？

漠然とした不安を抱えている方もいるのではないのでしょうか？

最期の時のことも含めたこれから先、あなたが自分の力を発揮しながら人生を楽しんだり、あなたやあなたの大切な人達が少しでも不安が少なく生活できるように、大切な人と共有していくきっかけをつくれたらと思いライフプランノートを作成しました。



●ライフプランノートってどんなもの



“自分らしく輝く”を応援する
大竹市 社会福祉 協議会

ライフプランノート

第1版(令和4年11月作成)



～もくじ～

第1章 自分史	P 2 ～ 11
第2章 健康のこと	P 12 ～ 17
第3章 相続のこと	P 18 ～ 21
第4章 死後のこと	P 22 ～ 23
第5章 メッセージ	P 24 ～ 25

第1章 自分史

- ・自分のこと ・家族や友人のこと
- ・もしもの時の連絡表 ・今の生活のこと
- ・今後の生活のこと

自分はどんな人生を歩んできて、これからどんな生活を送りたいか…
考えてみませんか？

第2章 健康のこと

自分や家族の健康・介護のことなど想像
してみましょう

第3章 相続のこと

あなたの財産や大切なものを整理し、
どうしたいか考え家族とも話して
みましょう

第4章 死後のこと

いつか来る日のために自分の
希望(お葬式・お墓・死後事務のこと)を
考えてみましょう

第5章 メッセージ

あなたの周りの大切な方たちへ
伝えたいことはありますか？

こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。

あけまして
おめでとうございます



大竹市地域包括支援センターは、本年も皆様の思いや不安に寄り添い、自分らしい生活を続けていけるようにお手伝いします。お気軽にご相談ください。今回は、センターで最近特に力を入れている事業についてご紹介します。

金融機関との連携



皆さんの抱える不安を早期に発見し、様々な相談に対応していけるように、医療・福祉の専門機関との連携はもちろんのこと、生活に身近な金融機関や商店との繋がりづくりを行っています。

その一環として、10月14日(金)、広島銀行大竹支店にて相談会を実施しました。初めての試みで、来店客を対象とさせていただいたので、当日の相談者は1名のみでしたが、これまで「地域包括支援センター」という機関を知らなかった方にも知っていただくことができたと感じています。今後も定期的の実施し、幅広い世代の方にセンターを知っていただくとともに、様々な場面で皆さんの生活をサポートしていける体制づくりに取り組んでいきます。



いきいき百歳体操の支援・介護予防教室の開催

大竹市内には健康で元気に過ごしたいという思いを持ち、自主的に運動等に取り組まれているグループがたくさんあります。その方達が無理なく、継続して活動できるように、センターの保健師が定期的に訪問し、体力測定や相談にのっています。

また、自身や周りの人の健康や介護予防にもっと関心を持っていただき、今後も楽しみのある生活を送れるように、医療や介護に関する知識や運動などをご紹介します教室を開いています。11月21日(月)には、栄公民館で介護予防教室を開催しました。今後も他の地域でも開催したいと考えています。うちの地域でもこんな話が聞きたい!などありましたら、いつでもご相談ください。



問い合わせ：大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

募集

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」 協力員養成講座を開催します！

有料在宅福祉サービス「ほほえみネット」とは、会員方式の有償ボランティア事業です。福祉サービスを必要としている方の日常生活（掃除・洗濯・話し相手等）をお手伝いしてみませんか？

日 時：令和5年1月26日(木) 13:30~15:00

場 所：サントピア大竹 1階会議室

内 容：①有料在宅福祉サービスについて ②介護予防・生活予防支援総合事業について

対象者：大竹市在住・在勤の方

参加費：無料

申込期限：1月20日(金)

申込み：地域福祉課 TEL：(0827) 52-2275まで



ヘルパー実技講習会開催

私たちと一緒にヘルパーとして働いてみませんか？

資格を持っているけど、ヘルパーとして働くには不安だなと思っている方。
ぜひこの機会に現場復帰してみませんか。

実施場所：大竹市総合福祉センター「サントピア大竹」 大竹市西栄2丁目4-1

対象者：大竹近郊在住の有資格者（ホームヘルパー2級、介護職員初任者研修等）

定員：5名

講義内容

月 日	内 容
2月13日～ 17日の間で 2日間	生活支援の内容 ～訪問介護サービスのグレーゾーン～
	身体介護の内容 ～体の向きを腕1本で変えてみよう～

※いずれも 10時～18時の間で2時間程度 ※希望に応じます。

講 師：大竹市社協訪問介護事業所 職員

受講料：無料

申込み：2月6日（月）までに、大竹市社協訪問介護事業所に申込み。

TEL (0827)52-2227 担当：和田

展示スペースをご利用ください

この度、サントピア館内(1階)に展示スペースができました。サロンや集まり、趣味で作成した作品の展示を皆さんに紹介する場としてご利用ください。

1. 利用期間

- ①展示期間は原則2週間までとさせていただきます。
※展示物の搬出入等、準備や片付けに要する時間も展示期間に含みます。
- ②搬出入等、準備や片付けは展示者にて行っていただきます。

2 展示場所

サントピア大竹館内1階ロビー指定区域

3 展示作品

自主制作したもの又は教育的要素のあるもので、特定の思想に偏らず公序良俗に反しないものとします。

4 対象者

大竹市内に居住する方、本会に関する団体

5 申込み(無料)

展示を希望する個人、団体は申込み時に依頼書に記入し提出してください

連絡先 総務課 TEL (0827)53-8120



あたたかいご寄付
ありがとうございます

令和4年10月1日から
令和4年11月30日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご寄付の金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

金一封 匿名

〃 夫 南海 新本幸子 油見三

〃 匿名

〃 父 照男 棚田誠二 油見二

〃 母 山崎孝 福島雅子 元町三

〃 匿名

〃 父 智之 鈴木俊夫 晴海一

〃 兄 忠夫 杉本三枝子 白石

◆一般寄付

金一封 匿名

東南アジアの子どもを

就学させるため

〃 匿名

〃 井上京子 三ツ石町

◆物品寄付

更生保護女性会様よりマスクの寄付を頂きました

《合計金額 11件 26万1千円》

相 談 窓 口

事業名	とき	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 (祝日休み)	13時00分～ 16時00分
よりそいサポートセンター	月～金 (祝日休み)	9時00分～ 17時00分
障がい者相談支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分
地域包括支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分

お詫び

11月25日(金)に開催いたしましたオンライン配信による「令和4年度 介護の日講演会」につきまして、本会が所有する音響機器の調整が不十分であり、コミュニティサロン元町、おがたピア会場にご来場いただいた皆様、配信にて参加頂いた方には、講演を十分に聞いていただくことができませんでした。大変ご迷惑をおかけしましたこと紙面をもちましてお詫び申し上げます。

赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます

自治会・企業等の皆様のご協力により善意の募金が集まっています。

募金総額 **3,901,175円**

(令和4年12月1日現在)

3月31日まで募金期間がありますので引き続きご協力おねがいします。



学 習 会

事業名	とき	時 間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～ 20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～ 12時00分
手話「ぼぽんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～ 12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～ 9時30分～ 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～ 12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～ 15時00分

定 例 的 な 事 業

事業名	とき	時 間	内 容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～ 12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	毎週水曜日	10時00分～ 15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
ソーシャルクラブ「青空」	毎月一回	10時00分～ 14時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～ 14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援	毎月第4火曜日	10時00分～ 11時30分	ひきこもりの方が過ごす場、家族同士のふれあいの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分～ 20時00分	小中高生が対象のつどいです。夕食の提供があります。

申込み・問い合わせはいつでも **大竹市社会福祉協議会 TEL (0827)52-2211 FAX (0827)53-8122**

編集発行：大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)
メールアドレス <info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ <http://www.otake-shakyo.or.jp/>



民児協だより

第51号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1
TEL 52-2235

新春のごあいさつ



大竹市民生委員
児童委員協議会
会長 松田 道男

あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、明るく希望に満ちた新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

私は昨年12月の民生委員児童委員(以下、民生委員という)一斉改選にて、大竹市民児協会長に就任した松田です。よろしくお願い申し上げます。新たに委嘱された方を含めて良き隣人として民生委員活動に取り組ませていただきます。民生委員制度は創設より百年を超し歴代の諸先輩方が築いてこられた「誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり」の基本方針の下、お互いが研鑽して様々な困りごとの解決の一助になれば幸いです。

新型コロナウイルス感染症もなかなか落ち着きが見えませんが我々が抱える課題は山積しています。それぞれの課題について行政への橋渡し役として、委員一同尽力してまいりたいと思います。

私は次に掲げる言葉を大切に活動させていただきます。「ありがとう」「さいます・おかげさまで・おたがいさま」すなわち感謝・慎み・助け合いの言葉を胸に

地域住民誰もが、明るく楽しく暮らせる大竹市をめざして活動してまいります。
地域の方々の多大なる協力を得ながらより良いコミュニティを共に作っていきましょつとお願いして新春のあいさつとさせていただきます。

民生委員児童委員退任にあたり



大竹市民生委員
児童委員協議会
前会長 中原 悦司

平成4年に民生委員児童委員となつてから30年が経ちました。地域の方々の行政そして地域包括支援センターの方々に支えられながら今日まで任に当たることができました。誠にありがとうございました。

民生委員の活動は、支援が必要な住民を行政につなぐことが主な仕事です。決して楽なものではありませんでしたが、「結果良ければ全てよし」の心持ちで活動しました。

30年も活動をしていると様々な経験をします。個人が特定されてはいけませんので細々とお話することはできませんが、一般的でも参考になればとお話します。

まず、遺産相続です。親が亡くなり、残された者が争つという事です。生前の

遺言があればよかったのですが、突然のことで揉めてしまい相談にいられたことがありました。ご遺族の方々と一緒に悩み、適切な解決を考えました。

次に、生活保護についてです。借金の取立てが厳しく電話も外出もできないという方がいました。生活保護の申請をしていただき、弁護士会館にも相談に行ってもらい、半年後に、一応の生活が出来るようになりました。しかし、その後も心配で、一ヶ月くらいは三日に1度訪問をしました。

これは、民生委員の仕事とは離れますが、親の看護で駐車場を借りたという相談です。相談者はアパートに住んでいないのですが、最寄りの有料駐車場が3キロ以上離れていることを、行政に丁寧に伝えると借りることができました。

振り返ると本当に様々なことが思い浮かび、この紙面では語りつくせません。民生委員として、地域の方々の力に少しでもなれていたら幸いです。また、民生委員の存在、仕事を地域の方々にもっと知ってもらえたらと願います。

最後になりますが、民生委員を退任しても、地域における関係は続きます。今後は、地域の一員として、私自身がお世話になることもあるかもしれません。

地域の皆様、民生委員さん、これからよろしくお願い申し上げます。

こんにちは赤ちゃん

コロナ禍の中、訪問は難しく電話での対応が多かったのですが、久しぶりに「赤ちゃん訪問」をしました。

沖田英愛斗(エイト)くん 7月生まれの男のお子さんでした。

お母さんは、「夜も5時間くらい寝てくれます。心配なくらいです。どちらかというと、2歳のおねえちゃんのほつに手がかかります」と話されていました。子育ては、大変だけど、日に日に成長していくわが子を見るのは楽しみです。



あなたの相談相手

民生委員児童委員が

決まりました

このたびの一斉改選に伴い12月3日、アゼリアおおたけで大竹市民生委員児童委員就任式が行われました。就任した方には、厚生労働大臣、広島県知事の委嘱辞令書が伝達されました。就任した委員は次の方で「あなたの相談相手」として担当地区の福祉活動を推進します。委嘱期間は令和7年11月30日までの3年間です。

大竹地区

選任中	木野一丁目全域
山本 竹生	木野二丁目全域
山瀧 朋子	元町一丁目全域
村本 光理	元町二丁目全域
住友 直子	元町三丁目全域
所 朋子	元町四丁目全域
野村 良子	本町一丁目全域
住居 里美	本町二丁目1～10
尾田 直子	本町二丁目11～16
石橋美知雄	白石一丁目1～15
選任中	白石二丁目16～26
望戸 尚志	白石二丁目全域
清水 辰明	新町一丁目全域
中西佐知子	新町二丁目全域
俊成 茂哲	新町三丁目全域
選任中	油見一丁目全域

小方地区

松本 敬子	油見二丁目全域
西川 壽子	油見三丁目全域
松田 道男	南栄一丁目全域
木谷 洋子	南栄二丁目1～7
阿部さわ子	南栄二丁目8～14
福中久美子	南栄三丁目全域
浅井 善子	西栄一丁目全域
新川 勝利	西栄二丁目全域
岡 裕子	西栄三丁目1～12
中山 泉	西栄三丁目13～22
渡邊 節子	東栄一丁目全域
中原 陽子	北栄全域
森本 香里	主任児童委員
伊勢岡 薫	主任児童委員
選任中	黒川一丁目、港町全域
選任中	黒川二丁目全域
梶田 博美	黒川三丁目1～15
中村 里美	小方一丁目1～10、曙通
柴崎 雅文	小方二丁目20～27
谷川 義次	小方二丁目9～11
選任中	小方一丁目1～8、12
河村 薫	御園一丁目1、4～6
選任中	御園二丁目2、3
田口 明義	御園三丁目1、3、5の1
選任中	三ツ石町全域
選任中	菅一丁目、立四丁目

玖波・栗谷地区

選任中	立戸二丁目全域
賀谷 京子	立戸三丁目全域
田中 次子	防鹿、穂原全域
木下 誼	比作、安楽八丁目全域
小出 茂	前飯、後飯台全域
島津 香代	阿多田全域
村井 啓利	小方ヶ丘全域
水戸 絹江	主任児童委員
永井 隆	主任児童委員
土坂マチ子	玖波一丁目全域
轉石 善博	玖波二丁目全域
選任中	玖波三丁目全域
中田 典久	玖波四丁目全域
竹下 正博	玖波五丁目全域
重村 正枝	玖波六丁目全域
小澤 陽子	玖波七丁目全域
高垣 治彦	玖波八丁目全域
大下 敏	湯舟町全域
岡 登美子	大人原全域
古川 義勝	松ヶ原町全域
西尾 悦子	大栗林全域
村田真奈美	小栗林全域
松崎 光信	後原全域
藤岡 孝之	谷尻、広原全域
選任中	谷和全域
築地 富美	主任児童委員
中川 和恵	主任児童委員

表彰者の紹介

令和4年度、次の方々が多年にわた
り民生委員児童委員として福祉活動
に貢献された功績により、表彰されま
した。



砂本 達美さん
前飯谷・後飯谷全域

全国民生委員児童委員連合会会長表彰



澄川 祐子さん
玖波3丁目全域

全国社会福祉協議会会長表彰

広島県民生委員児童委員協議会会長表彰
大竹市社会福祉協議会会長表彰



浅井 善子さん
西米1丁目全域



阿部さわ子さん
南米2丁目8～14



木谷 洋子さん
南米2丁目1～7



松本 敬子さん
油見2丁目全域



俊成 茂哲さん
新町3丁目全域



三上 和子さん
白石2丁目全域



中田 典久さん
玖波4丁目全域、黒川3丁目16



土坂マチ子さん
玖波1丁目全域



永井 隆さん
小方地区
主任児童委員



島津 香代さん
阿多田全域



梶田 博美さん
黒川3丁目1～15



中山 泉さん
西米3丁目13～22



築地 富美さん
玖波・栗谷地区
主任児童委員



藤岡 孝之さん
栗谷町谷尻、広原全域



松崎 光信さん
栗谷町後原全域



古川 義勝さん
松ヶ原町全域



櫛原 博さん
玖波8丁目全域



小澤 陽子さん
玖波7丁目全域

大竹市長との意見交換会

9月30日午前、市役所3階大会議室において、市長、副市長、教育長、健康福祉部長等、合せて9名と会長他、理事9名、民児協事務局の参加にて恒例の意見交換会を実施しました。

この会は民生委員児童委員が日頃の活動で感じたことや地域住民から伺った意見等を行政と共有、要望する会です。あらかじめ各関係部署と調整を図り、大筋の見解を基に当日は詳細確認の質疑応答に終始でき、予定時間内で実りある意見交換ができました。

主な要望意見の概要は、

- ① 道路整備等について
 - ② 交通安全・事故防止対策等について
 - ③ 公共交通について
 - ④ 災害時の避難場所について
 - ⑤ 民生委員児童委員活動について
 - ⑥ 公共施設の施設管理等について
- と広範囲にわたる内容でした。会の終わりに際し、入山市長よりねぎらいの言葉をいただき、今後の活動の励み、責任を改めて感じました。



大竹市民児協の活動アルバム

さまざまな相談に対応できるよう研修に努めています。



坂町「災害伝承ホール」への視察研修
(2022.11.24)



コイ・こいフェスティバルでのPR活動
(2022.11.13)



三原市久井町「もうもカフェ」への視察研修
(2022.10.26)



安芸太田町「青年海外協力協会」への視察研修
(2022.10.24)



大竹消防署による救命講習
(2022.10.7)



終活(エンディングノート)研修会
(2022.9.21)



児童虐待防止研修会
(2022.8.29)



広島友愛福祉会訪問
(2022.8.2)



三原市民児協との交流会
(2022.7.25)



同志社大学上野谷加代子先生の講演「DVD視聴研修」
(2022.5.12)



映画監督信友直子先生の認知症講演会
(2022.3.31)



「ぶらっとほーむ」訪問
(2022.3.25)